



世田谷稲門会会報

平成28(2016)年4月24日
第 61 号
 発行人集 世田谷稲門会 昭一 一夫子次行男子
 吉俊浩邦信利秀昭俊
 田並口島子原内林巢
 横榎小寺兼江大若鷲
 事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東
 3-1100-12 M2209
 TEL/FAX 044-433-9202
 林 馨 (はやし かおる)

世田谷稲門会 第25回定時総会開催

日本水泳連盟会長 青木剛氏が講演

6月11日(土)午後4時30分より

主婦会館プラザエフにて

世田谷稲門会の第25回定時総会が主婦会館プラザエフ(JR・東京メトロ四ツ谷駅下車徒歩3分)にて午後4時30分から開催されます。

講演会は早稲田大学出身で日本水泳連盟会長の青木剛氏(昭44文)から『日本水泳ーリオ・東京へ向けての現状と展望』と題してご講演いただきます。



青木剛氏の経歴 プロフィール

昭和22年1月3日生、大分県出身、早稲田大学文学部卒業
 シドニーオリンピック水泳代表監督として4個のメダルを獲得、アテネオリンピックでも同じく水泳代表監督として8個のメダルを獲得し、「競泳王国ニッポン」の復活の立役者となった。

平成22年秋の褒章で藍綬褒章を受章した。
 平成27年現在は、日本水泳連盟会長。
 2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会議事。

○国際大会歴(オリンピック) ソウル(水泳ヘッドコーチ) バルセロナ(競泳監督) アトランタ(本部役員) シドニー(水泳代表監督) アテネ(水泳代表監督)

総会の詳細については同封の別紙「第25回定時総会のご案内」をご参照ください。

是非皆様のご出席をお待ちしております。同封の返信用はがきで出欠のご連絡をお願いいたします。なお、当日ご出席いただけない方は委任状にご記入、ご署名のうえご返信くださいますようお願い申し上げます。

総会の会費は8000円で

＝母校の今＝(第31回)

早稲田から WASEDA へ! (その3)

<前号から続く>

(3) 早大の外国人学生数の所属先別ランキング

早稲田大学留学センターが昨年公表したデータ(2014年11月1日現在)に拠れば、

- ①国際教養学部 845人 (16.95%)
- ②日本語教育研究所 413人 (8.28%)
- ③大学院情報生産システム研究科 362人 (7.26%)
- ④大学院アジア太平洋研究科 349人 (7.0%)
- ⑤政治経済学部 330人 (6.62%)
- ⑥大学院商学研究科 255人 (5.12%)
- ⑦大学院経済学研究科 193人 (3.87%)
- ⑧大学院政治学研究科 152人 (3.05%)
- ⑨商学部 146人 (2.93%)
- ⑩基幹理工学部 143人 (2.87%)
- ⑪創造理工学部 140人 (2.80%)

以下12～38位は省略。

(早大の外国人学生総数 4985人)

(4) 注目される早大「国際教養学部(SILS)」

早稲田の国際化戦略の大きな柱の一つとして2004年に新設されたこの学部は、多様な言語・文化・価値観が混在する環境の創出と維持を重視。創設時よりほぼ全ての授業を学部の共通語である英語で行い、所属する教員・学生の3人に1人が外国人である。

さらに、教養教育では、従来の日本のそれとは一線を画し、大学4年間を通じて、少人数型の徹底した教養教育(政治・平和・人権・国際関係・生命・環境・物質・情報科学など)を実施している。今年で創設12年目を迎えた当学部が、今後目指すのは、「広い意味での国際人であるブルリリンガル(複言語)人材の育成」だという。

早稲田のさらなるグローバル化への今後の動きに注目したい。

<この項終わり>

(大内 秀行/記)

平成28年新春懇親会開催

平成28年1月23日(土)、表参道駅から徒歩5分の「アイビーホール」にて午後5時から恒例の新春懇親会が開催されました。

ご来賓を含め100名以上の参加を得て、当会では初めてとなるフルコースディナーによる懇親会でした。来賓として世田谷三田会の三宅茂樹会長、杉並稲門会の久保田貞雄会長、前坂靖弘副会長にご出席いただきました。

富塚兆弥幹事(昭41政経)の司会で第一部が開幕です。横田吉明会長(昭38商)の新年の挨拶に続き、鈴木宏治副会長



横田会長挨拶



富塚幹事の司会

めは「帆翔」という大鷲が滑空する様をあらわした題名の、素晴らしい四重奏でした。また



お嬢様のお一人も早稲田出身という早稲田に縁の深いご家族です。邦楽の演奏会が始まりました。おなじみの新春の曲「春の海」の他に、珍しいサンバ風のリズムの邦楽などを演奏いただき、締めは「帆翔」という大鷲が滑空する様をあらわした題名の、素晴らしい四重奏でした。また

(昭38商)から本日演奏いただく「柳内伝統音楽院」の紹介がありました。主宰の柳内調風氏は6歳より生田流箏曲、8歳より琴古流尺八を学び、他方、声楽、指揮法、作曲を学び多くの合唱団・合奏団常任指揮者を務められています。今回は柳内調風氏とご家族(奥様、二人のお嬢様)による尺八と琴の四重奏です。因みに調風氏の父上は早稲田出身

ことに正月にふさわしい催しでした。



柳内調風氏とご家族



第二部はお待ちかねのフルコースディナーです。落研出身の富塚幹事の軽妙な司会ですすみ、ご来賓の杉並稲門会久保田会長のご挨拶のあと、新入会員4名の紹介がありました。長老の上田忠雄さん(昭26理工)の乾杯の音頭で宴会

が始まりました。和洋折衷のとても美味なフルコースで、飲み物もビール、焼酎、日本酒、ワインと取り揃え、和気あいあいとした中で宴が進みました。特に日本酒は「久保田百寿」の燗酒がとても人気でした。

宴も終盤にかかるころレディースクラブ主導による福引大会の開幕です。今回の目玉賞品としては、井山庄司画伯(昭42政経)寄贈の絵画、吉村豪介氏(昭34教育)寄贈の青木功サイン入りパター、榎並俊一氏(昭46理工)寄贈の3万円の旅行券があり、計50点以上の豪華賞品にとっても盛り上がりました。



福引大会



絵画が当たった!



旅行券が当たった!



パターが当たった!

締めは、鈴木副会長の閉会の辞を兼ねての謝辞があり、元応援部の池田友彦幹事(昭62文)のリードで校歌を斉唱、楽しい一夜が終わりました。(榎並 俊一/記)



池田幹事のリードで校歌斉唱

早稲田大学校友会 東京都23区支部大会



平成28年3月6日(日)、リーガロイヤルホテルにて300名を超える参加者を得て開催された。世田谷稲門会からも横田会長、島田幹事長他、計18名が参加した。第一部はマラソン解説者の金哲彦氏の講演会。当日に開催された琵琶湖マラソンの結果も反映させ、リオ五輪の代表選考予想などが盛り込まれ、楽しいトークでした。第二部は鎌田総長の挨拶の後、宴会となった。途中アトラクションとして、マンドリンアンサンブルの演奏が入るなどとても楽しい雰囲気の中で終了となった。(榎並 俊一/記)

ソウルツアー報告

榎並 俊一(昭46理工)

昨年に開催された稲門祭(ホームカミング)の籤引きで当選した「ソウル3泊4日ペア旅行」に、平成28年3月8日(火)〜11日(金)で行ってきました。4日間天気は最高でしたが、さすがに風が冷たく防寒着が必要でした。最近なにかと話題になっている北朝鮮との国境線の「板門店」にもオプショナルツアーで行ってきました。南北会議場の中では軍事境界線を越えて記念写真も撮りました。警備がとて厳重で緊張した雰囲気の中なかでの見学で、貴重な体験をしました。翌日は早稲田大学と姉妹校になっている高麗大学の見学をしてきました。



とても素晴らしい環境の大学でした。キムさんという経営学科の女子学生(2年)の案内で1時間ほどのキャンパスツアーをしました。4日間という短い期間でしたが、面白い旅行でした。

世田谷ぶらさんぽ

第3回

豪徳寺

東急世田谷線「宮の坂」駅を降りて歩くこと5分、豪徳寺参道の入り口がある。木々に囲まれとても落ち着いた立派な寺である。ここを訪れるのは桜の季節もよし、新緑の季節もよし、また紅葉の季節もまたよしと、四季折々の顔を見せてくれる寺である。

豪徳寺は曹洞宗の寺院で山号は大谿山(だいけいざん)。本寺の周辺は天正18年(1590年)の小田原征伐で廃城となった世田谷城の主要部だったとされる。近くには世田谷城址公園もある。

井伊直孝が猫により門内に招き入れられ、雷雨を避け、和尚の法話を聞くことができたことを大いに喜び、後に井伊家御菩提所としたという。このため招き猫の発祥の地とされている。豪徳寺では「招福猫児(まねぎねこ)」と称し、招



マネキ猫

猫観音を祀る「招猫殿」がある。招猫殿の横には、願が成就したお礼として、数多くの招福猫児が奉納されている。

彦根藩主井伊家墓所(国の史跡)であり、井伊直弼の墓(東京都指定史跡)がある。豪徳寺の名の由来は井伊直孝の戒名である「久昌院殿豪徳天英居士」により改称されたという。(榎並 俊一/記)



参道



山門



仏殿



井伊直弼の墓

【アクセス】

小田急線「豪徳寺」駅から徒歩15分
東急世田谷線「宮の坂」駅から徒歩5分

ブロック会だより

西北

平成 28 年 1 月 6 日 (水) 17 時から有志 18 名の会員が地元の北澤八幡神社本殿前に集結し、初詣を行った。本殿内では西北会会員でもある宮司から祈祷を受け、人のありかた、倫理観を示す“浄明正直(じょうみょうせいちよく)”、意味は清く、明るく、正しく、真っ直ぐにというお言葉を披歴、本年の指針を示された。

会員皆、家庭円満を願った厳かな気持ちを抱きながら神社を後にして下北沢駅西口横の新年会会場「天華」へ向かった。柏良子代表の納涼会での御礼及び新年の挨拶のあと、前原祖彦長老の乾杯の発声で一気に宴会モード突入。あちこちで箱根駅伝、ラグビーの五郎丸選手の活躍など話題は豊富。そのあと横田吉明会長が納涼会など本部イベントを報告、本年も支援よろしくと挨拶。各テーブル話題は尽きないが時間となり、清水胤弑さんより、本人の数々の病気の体験から“くれぐれも健康に留意し本年も頑張りましょう。”という中締めのことばで再会を約して散会とした。本年も良い年になりますように。

3 月 19 日 (土) に「第 37 回西北会例会」を開催した。

今回も二部制をとり、一部は 13:30 より代々木上原の古賀政男音楽博物館にて“クラシックコンサート”を聴き、二部は 17 時より NHK 青山荘にて懇親会でした。(詳細はホームページを参照ください)

(桃井 清治 / 記)



キャロット

平成 27 年 11 月 29 日 (日)、午後 5 時より、池尻大橋駅近くのイタリアン料理店「Osteria Buono」(オステリア・ボーノ)においてキャロット会の忘年会が開催されました。246 号線から少し入ったビルの地下 1 階にある、雰囲気のあるお店に 24 名が集まり、美味しい料理と旨いワインで楽しいひとときを過ごしました。今回は新しく入会された 5 名の新人の方々も参加されました。

(冨塚 兆弥 / 記)

【参加者】青木明彦、青木誠司、井口亜由子、榎並俊一、遠藤智、奥田隆、奥田真知子、川井泰彦、*河井洋介、西喜永治、坂井宏爾、佐野淑子、*鈴木俊光、*宗慎治、辻村ひろみ、冨塚兆弥、*永井文男、中井盛久、萩原健、濱野千鶴子、原貴則、東直彦、*日野俊郎、森昌治 (*印は新入会員)



きぬた

平成 28 年 2 月 28 日 (日)、成城学園前駅コルティ 4 階のイタリアンレストラン「アマルフィイ・カステッロ」において、きぬた会に新たに加入された方々と世話人の顔合わせ懇親会を開催しました。当日は 5 名の新会員と 5 名の世話役が出席し、お昼のひと時を和気あいあいの雰囲気の中で過ごしました。

冒頭、國澤代表世話人から、世田谷稲門会全体の概況説明と各分科会の紹介、及び入会勧誘の案内があり、続いて新会員の方々と世話人が自己紹介を行い、懇親会に入りました。

今回参加の皆さんは、昭和 39 年から平成 11 年卒業までと幅広い年代にわたっておりましたが、学生時代のエピソードや社会人としての経験、趣味にまつわる話題など大いに話が弾み、あっという間に楽しい時間が過ぎて行きました。

「継続は力なり」と申しますが、新会員の皆様共々、会の発展に尽力して参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

(佐伯 基憲 / 記)



千歳

定例の懇親会を春と秋の 2 回開催しています。平成 28 年の第 1 回目は 4 月 23 日 (土) に神代植物公園での植物観賞と深大寺そばを食する会を行いました。

今までは土曜日の午後に見学会やウォーキングを行ったあと、夜に懇親会を実施していましたが、今回初めて昼の開催にしました。

京王線調布駅に集合し、11時から神代植物公園内を散策しながら季節の草花を觀賞しました。深大寺の境内を通り抜け、懇親会からの出席者も合流して、「水神苑」にて深大寺そばを味わう会となりました。日本庭園を眺めながら、料理とお酒と懇談を楽しみ、名物の深大寺そばでの締めとなりました。

千歳会のメンバーにとっては身近な観光地ではありますが、何回訪れても四季折々の楽しみ方ができる場所です。

(戸田 昇 / 記)

けやき

平成27年を締めくくる忘年会を12月9日(水)に行いました。まず、ボランティアガイドの方が作って下さった資料を手に豪徳寺境内を散策。紅葉が綺麗でした。井伊家歴代の墓のそばに井伊直弼を襲った水戸浪士の碑があるなど意外な事実もわかり、今さらながら興味深く、しばしの散歩を楽しみました。その後、近くの閑静な住宅街にある南チロル料理店「三輪亭」で、自家製のハムや熟成チーズなどを使った食事を堪能しました。知る人ぞ知る予約の取りにくい人気店だそうで、参加者は22名と盛会でした。



(鷲巢 俊子 / 記)

玉川

平成28年2月7日(日)正午より玉川会新年会を田園調布倶楽部で開催しました。本部から横田会長、島田幹事長、国澤常任幹事のご出席を頂き、出席者は会員28名、夫人6名、ご主人1名(準会員)の35名でした。

林さんの司会で開会、小林代表世話人の挨拶の後、横田会長にお言葉を頂き、乾杯の発声は重鎮の小山田さんをお願いしました。懇談開始後島田幹事長と国澤常任幹事にご挨拶を頂き、その後新入会員の滝川さんの紹介と挨拶がありました。田園調布倶楽部での新年会は平成22年から続いて今年で7年目となりますが、料理が美味しく(イタリアンのコース)雰囲気もとても良いので、毎年出席の皆様から好評をいただいています。田園調布の住宅街にある名店で、優雅で落ち着いた雰囲気の中で料理を堪能しました。



懇談が進む中、林さんからの本部報告に続き、世話人から世田谷稲門会納涼会(今年は玉川会担当)と玉川会各行事の案内がありました。今年は例年行っているスピーチと余興は無く、ひたすら飲食と歓談を楽しむ形としました。デザートタイム以後恒例の席替えを行って更に交流を深め、会は益々盛り上がりました。締めの挨拶は前代表世話人の井澤さんをお願いしました。参加人数は昨年より少なかったのですが、盛会裏に2時45分にお開きとなりました。

秋イベントとして11月21日(土)に青山の先端技術館(TEPIA)見学会を行いました。参加者は会員12名、夫人2名の14名。先端技術館は、様々な分野の先端技術を集め、楽しく身近なものとして体感できる新しいスタイルの展示施設ですが、最新技術の素晴らしさを認識することが出来、大変貴重で興味深い見学会でした。同館2階にあるレストランで昼食会を行い、美味しい食事と歓談を楽しんだ後、午後1時30分前に散会しました。

(太田 隆 / 記)

さくら

さくら会は春と秋の2回の懇親会と、夏には有志による特別企画を開催して相互の親睦を行っています。平成27年10月開催の懇親会では世田谷区役所および玉川警察署からの参考資料の協力を得て、最近の巧妙な手口のアレコレ詐欺と振込め詐欺の具体的な実例を披露しました。

今や詐欺グループは舞台俳優並みの演技で、会社の上司、役所の係長、巡回警察官、駅員さんなどの役割が次々と接触してきて安心させ、何時の間にか被害者も信じ切ってしまう巧みさで、騙されたと気が付くのは後の祭りになってしまう恐ろしい手口です。このため当日の懇親会参加者の皆さんには大変参考になったと喜ばれました。



(江原 利次 / 記)

特別部会だより

青年

今年の青年部の第1回例会を、平成28年3月4日(金)に早稲田大学近くの蕎麦屋金城庵の2階座敷を借りきって行いました。当日は、北九州市からの参加者、ゲストも含めて18名の方が出席し、学生時代のコンパを懐かしく思い出しながら、楽しく懇親・交流しました。4名の方が初参加されたのも嬉しいニュースです。当面の目標である参加者20名超えも達成が近づいて来たように思います。途中、当部会の運営方針等の真面目な議論も挟んで、お店の閉店時間まで談論風発の宴は続きました。

青年部は、現役で仕事をしている稲門会会員が気楽に参加できる楽しい部会ですので、青年部の活動にご興味のある、青年の心を持つ皆様、どうぞお気軽に一度覗いて見て下さい。

(中島 史郎 / 記)



レディースクラブ

レディースクラブは新春懇親会で福引大会を担当しています。今年もまた、皆様のご協力により様々な素晴らしい賞品が集まりました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

福引きは大いに盛り上がり、賞品が次々と当選者に手渡されていきました。

そのなか、100名という大人数であったためでしょうか。あれ?半券どこ?という方もおられたようです。たいへん残念。次回は、絶対に無くされないよう、受付でレディースクラブが責任を持ってしっかり念押しするようにいたします。

(篠崎 章子 / 記)

地域サポート活動

地域サポート活動部会が皆様からお預かりしている募金は、お蔭様で40万円を超えまして、このうち10万円ずつを下記2施設に寄付いたしました。

- ① 自立援助ホーム『憩いの家』(経堂)
- ② アフターケア施設『ゆずりは』(小金井市)

自立援助ホームとは、親が無くあるいは居ても様々な事情から高校に行けない、もしくは中退を余儀なくされた子供たちが働いて社会に出られるように、物心両面で援助していく施設です。

また、アフターケア施設とは、そのようにして自立しようとしている或は自立した後の子供達の問題や悩みを受け、解決し前進していけるよう手助けをしていく事業です。

両施設ともある程度公的な支援は有りますが、職員人件費、施設運営費の割合は多く、子供達の支援に直接回せるものは多くありません。

私達は、「自立していく子供達の直接の支援に回して頂くように」として、2月1日(月)に憩いの家への寄付を行いました。また、『ゆずりは』には運営活動費として3月4日(金)に寄付を致しました。写真はそれぞれ寄付をお渡しした時のものです。

なお、それぞれの施設から受領した領収証及びその他の写真は、世田谷稲門会のホームページに記載しておりますのでご覧ください。

地域サポート活動部会の定例会議は引き続き原則毎月1回開催しております。

60号での募金状況に引き続き、11月10日(火)以降の募金状況を以下にご報告いたします。

ゴルフ部会：11,000円、麻雀部会：3,000円、玉川会：7,095円、食べ歩き部会1,020円、匿名ご寄付：(延べ8名)：105,000円、募金総額は上記寄付20万円を含め3月5日現在合計406,432円となっております。

(林 馨 / 記)



憩いの家で寄付をお渡しする寺澤代表と前田理事長(左)、中央は武田専務理事



ゆずりはスタッフの徳光さんと地域サポート活動部会のメンバー

趣味の部会だより

ゴルフ

平成 27 年 12 月 1 日 (火)、第 85 回世田谷稲門会コンペは快晴の桜ヶ丘カントリークラブで 43 名の会員の参加を得て開催されました。グリーンがやたらと難しくなったコースに全員が四苦八苦、なんとグロス 80 台はベスグロの旭正勝さん一人だけという、低位安定のコンペとなりました。



そんな中で見事総合優勝されたのは 2 回目出場の刀根秀巳さん。46:45=91、HD18、NET73 でした。準優勝は戸田昇さん、3 位は河西英治さん、グランドシニア優勝は長谷川宏さん、シニア優勝は旭正勝さん、レディース優勝は佐伯純子さんでした。おめでとうございます。

第 86 回は平成 28 年 3 月 29 日 (火)、中津川 CC にて開催されました。詳細についてはホームページを参照ください。
(榎並 俊一 / 記)

カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日 13:00 ~ 17:00

BIGECHO ハッピーパーティ下北沢駅前店。参加費 2000 円。飲み物 2 回注文つまみチョコ付。全員集会后 3 ~ 5 室入れ替え (出欠返信で部屋割り) 4 時間で各人 10 数曲歌い最後に全員で校歌。健康の為に歌うサロンの雰囲気。随時入会歓迎します。

■第 104 回 11/7 (12 名)、第 105 回 12/5 (10 名)、第 106 回 1/10 (16 名) 新年会マダムチョウの店 (写真)、第 107 回 2/6 (16 名)

■新年会<リクエスト曲抜粋> ♪ 悲しみの黒い瞳 (郷ひろみ)・矢立の杉 (杉良太郎)・お祭りマンボ (美空ひばり)・赤と黒のブルース (鶴田浩二)・For You (高橋真梨子)・故郷はどこですか (テレサ・テン)・恋は赤いバラ (殿様キングス)・春を待つ (岡容子)・初恋 (舟木一夫)・テネシーワルツ (パティ・ペイジ)・永遠の嘘をついてくれ (中島みゆき)・夢追い酒 (渥美二郎)・憧れのハワイ航路 (岡晴夫)・雪化粧 (テレサ・テン)・風の盆恋歌 (石川さゆり)・感謝 (北島三郎) ♪ など 48 曲を熱唱しました。
(倉田 豊 / 記)



ウォーキング

平成 28 年 1 月 10 日 (日) の新年初歩きは 17 名の参加により溜池山王駅を午後 1 時に出発し、申年に相応しい御猿神の守る日枝神社への初詣をしてから、日本の政治の中心霞ヶ関界隈を散策。桜田門前にて集合写真を撮り、午後 4 時からは三軒茶屋にて新年懇親会を開催しました。

2 月 21 日 (日) のウォーキングは斉藤治雄氏の案内で、13 名の参加により午後 1 時に西調布駅から天文台下 ~ 水車通り ~ 自然観察センター ~ 武蔵野の森 ~ 調布飛行場での飛行機の離陸を見学 ~ さくら通り ~ スタジアム通りを経て飛田給駅にて解散となりました。その後は希望者による地元での懇親会も楽しみました。

(江原 利次 / 記)



芸術芸能鑑賞

真冬のイベント案内は極力避けているが、平成 28 年に入り 1 月 22 日 (金) に東京文化会館で「矢田ちひろさんの第 2 回 S P クラシックコンサート」を案内し、会員以外を含め 10 名参加した。1 月 28 日 (木) には 589 回三越落語会に 11 名参加。3 月 11 日 (金) には「5 人の声楽家による歌姫達の共演」を案内。更に 3 月 25 日 (金) は 590 回目の三越落語会、4 月 23 日 (土) には「矢田ちひろさんのピアノソロコンサート」、また東京芸大の先生方のアンサンブルトウキョウの「年 4 回の定期演奏会」の案内を行なった。次回には好評の「歌舞伎の鑑賞会」と花田さん出演の「三越劇場でのコンサート」を案内する予定。
(鈴木 宏治 / 記)

囲碁・将棋

つい最近、珍しく囲碁の話題がテレビや新聞等のマスコミで大々的に取り上げられました。“人工知能が世界的トッププロに勝利”です。囲碁は“読み”以外にも“感覚”的要素が重要なので、コンピューターにはなかなか対応できないと思っていた私にとっては相当なショックで、ガッカリしています。これからは“計算させたら人間は電卓に敵わない”位に割り切ることになりました。

とはいえ、数ある頭脳競技の中でも囲碁の奥深さ面白さは別格。人間が発明した奇跡のゲーム（ゲームというより学問に近い？）と信じています。

世田谷稲門会会員の中で、まだ囲碁部に入会されていない囲碁好きの方。いつでも大歓迎ですので気軽にご連絡ください。
(池松 正之 / 記)

俳句

平成 28 年申年の新春初句会は日下野由季先生から出された兼題の（梟）と自由句を持ち寄って行われました。句会の後は新年会を開催して大いに盛り上がりました。2月22日（月）の句会の兼題は（余寒）に挑戦しました。

(江原 利次 / 記)



ふくろふや右に左に頸を振り	富塚兆弥	梟の知恵にしびれる女流棋士	暮田忠雄
箱根路や走者の背中にある覚悟	榎並俊一	飛び石は古き石臼日脚伸ぶ	松尾 守
日脚伸ぶテレビを少しずらしけり	江原利次	祇王寺の苔に色置く落椿	荒居隆二
春の日や乗りこなしたる一輪車	沼田宣子	人待ちに過ぐる五分の余寒かな	田中 勝
余寒なほ芭蕉生家の長き土間	家井雪子	山川を見晴らす古墳鳥帰る	矢後洋平

釣 り

平成 27 年 10 月 25 日（日）利一丸より、イナダ、鰯ねらいで 9 名参加。出港時南風強く、出漁が危ぶまれたが、風が変わるからと船頭がいうので出港。40 cm くらいのイナダがぼつぼつ釣れたが、風は収まるどころかなおひどくなり、風除けのため城ヶ島近辺に移動した。移動した場所も当りは少なかった。小生初めて美味とされるウスバハゲ 44 cm を釣ることができた。ベテラン西尾氏はさすがイナダ 7 匹、鰯、鯖もけっこう釣り、全てを皆に配ってくれた。下船後の船宿のトン汁が美味であった。

10 月上旬平日に西尾氏の友人が、同船より出て、40 kg のメジマグロを釣り上げたとのこと。11 月 29 日（日）利一丸より 6 名参加。真鯛は船中 2 枚しか釣れなかったがイナダは丸々太った 50 cm 弱であった。1 月 18 日（月）京橋新世界にて新年会、8 名参加。会費 2500 円にて中華料理食べ・飲み放題で盛大であった。1 月 31 日（日）タチウオは荒天のため中止。2 月 28 日（日）ヤリイカは参加者少なく中止。
(柴田 昇 / 記)

食べ歩き

第 67 回（平成 27 年度第 3 回）世田谷稲門会食べ歩き会が、平成 28 年 2 月 20 日（土）、銀座の中華料理屋『筑紫楼』で開催されました。

参加人数 46 人と大規模な会となり、高級フカヒレをはじめ広東料理を楽しみました。中井盛久代表世話人の挨拶で始まり、筑紫楼の支配人より筑紫楼の代名詞であるフカヒレについての説明がありました。フカヒレは医食同源の考えから、不老長寿、老化防止に効果があるとされており、筑紫楼の先代がフカヒレを安く提供したいという強い思いから、昭和 53 年恵比寿にて開業したとのことです。有利純太郎氏の音頭で乾杯が行われました。前原祖彦氏のスピーチがあり、その後、奥田真知子さんのオペラの披露がありました。素晴らしいソプラノで会場全員が聞き惚れていました。関根昌一氏の誕生日に近いこともありご挨拶いただき、保倉進氏、上田忠雄氏、宮木甫氏と 3 人続けてご挨拶をいただきました。今回スピーチいただいた方々は全員が大先輩であるにも関わらず、素晴らしい内容のスピーチやそのお元気な様子に出席者全員が感心し、元気を頂戴しました。最後に全員で早稲田大学校歌を斉唱し、盛況のうちに無事終了となりました。



次回は 5 月 20 日（金）に恵比寿のジョエル・ロブションでの開催予定です。
(大山 毅彦 / 記)

写真

写真部会では、「プリント重視の例会」を実施していますが、プリント技術をアップする為に、例会でプリントの実習を実施する事にしました。(ノートパソコンとA3ノビ対応の顔料系プリンター)



A4サイズとA3サイズのプリントを展示

1月から例会で実施しました。会員がプリントしたい画像を持ち寄り、実際にプリントを行いました。推奨するプリント方法は難しくなく出来ますが、画像の処理が上手くいかない場合は画像を再調整して、プリントし直します。それを体感する事で、理解して頂きました。

最近の画像はカメラの進歩で色彩は一切触らず、簡単に処理し、プリントは決められたルールに従ってプリントすれば、完全に仕上がります。作品をレベルアップするには、まずA4サイズのプリントを行い、自分の明るさを確立する事を学び、用紙を写真用紙だけでなく、画材紙、マット紙、和紙等にプリントし、その変化で表現が大きく変わる事を知り、最後は自分の作風を作る事が大事です。更にA3サイズにプリントする事で最近の画像は奥行き感が出て来ますので、作品の撮り方も勉強できます。これからもノートパソコンとプリンターを教室に持ち込み、実演します。(但し天候不順の場合はノートパソコンだけになります。) 例会は何時でもご覧なれます。

(種谷 鴻成 / 記)

麻雀

平成 27 年 12 月 12 日 (土)

師走の忙しい正午、25名の善男善女が小田急線祖師ヶ谷大蔵駅歩3分の麻雀荘「天狗」(以下同一会場)に集い、来年の運を占うべく、丁々発止の試合となった。逆転また逆転の乱戦の末、結果は次の通り。優勝：佐藤喬 準優勝：河村卓郎 3位：桃井清治

平成 28 年 1 月 16 日 (土)

閏魔参りの日には珍しく暖かく晴れた正午、24名の紳士淑女が集まり、頭と口を総動員し初春の運勢を賭けた。激しい攻防の結果、半年間の闘病を征した代表世話人が周囲の同情を追い風にまさかの優勝を遂げた。優勝：下谷内堯 準優勝：河村卓郎 3位：松下正史

平成 28 年 2 月 14 日 (日)

バレンタインデーのチョコレートのやりとりもそこそこに25名の雀キチが集い、賜杯を取り合った。前回、前々回と2回続けて準優勝に泣いた河村世話人が初回から気合を込めた試合運びで執念の優勝をもぎ取った。優勝：河村卓郎 準優勝：高橋義幸 3位：松下正史。

当日、試合後の世話人会議で、暫定的ではあるが4月度より試合を東急田園都市線用賀駅東口駅ビル2階の麻雀荘「鈴家」(TEL. 03-3700-8199)で一本化し開催することとした。また、ルールも昨年9月より従来の「完全先ヅケ」から動きやすい「アリアリ」に変更した。新ルールブックも策定してあるので関心のある方は「鈴家」(飯田氏)までお問い合わせ願いたい。なお、これを機会に新会員も募集しているのでぜひお問い合わせを。

(下谷内 堯 / 記)

スポーツ観戦

平成 28 年 4 月 9 日 (土)、いよいよ東京六大学野球が早東戦で開幕し、5月28日(土)の早慶戦にむかって2ヶ月間の激しい戦いをくりひろげます。昨年3冠を達成した早稲田ですが間もなく沖縄キャンプを打ち上げメンバーが大きく入れ替わるなか「負けない野球」を目標に栄冠目指して一戦一戦頑張ってもらいたいと思います。ぜひ、皆様方が一人でも多く神宮球場に足ををはこんで下さるようお願いいたします。神宮でお会いしましょう。

(小林 昭一郎 / 記)



会員の広場

今、旬の男

酒井 はるみ (昭41文)

「人生百までみな十代」(〇十代と言いますから)という諺を聞いたことがあるが、人生の四分の三までくると、自分の趣味もずいぶん変わってくるものだと思う。

十代の頃、ハンサムな男子が好きだった。もともと私の好みは世間一般のハンサムの基準とは違っていたが、二十代になって、ハンサムなだけでは駄目だと気がついた。水泳選手のような肉体を持った男の人に魅力を感じた。

三十代になったら、顔も肉体も良くて頭の悪いのはいやだと思ふようになった。そして四十代になり、たとえハンサムで肉体美で頭が良くても、人格者でなければと考えようになった。五十代になると、全てを満たしている男の人でも仕事が得意でなければ何の取り柄もなく感じるようになった。

そして六十代以降、今日ま

で、私の趣味は全然変わっていない。ハンサムが何だ！頭が何だ！男の第一条件は按摩の上手なことだ。と、つくづく思う今日この頃だ。

思えば、私の最初のヒーローはゲーリー・クーパーである。小学生の私は大人になったらアメリカに行つてゲーリー・クーパーと結婚することに決めていた。ある時、映画を観ていて、クーパーが馬と同じくらい背が高いことに気がついて愕然とした。結婚してもキスする時どうしようと思つた。私の背丈はクーパーの三分の二ほどしかなかったからだ。私の熱は急に冷めてしまった。

そのようなわけで、その後、その時々旬の男が入れ代わり立ち代わり現れては消えていったが、今のところ、私にとつて旬の男はラグビーの五郎丸歩選手だ。テレビに出る彼を観ながら、はたして彼は按摩が上手かどうか、目下の私の関心事である。



野沢の湧水からの出発

星野 裕 (昭41政経)



昨秋、昭和41年卒業50年目のホームカミングに招待され

懐かしい母校でゼミ仲間と楽しい1日を過ごしました。振り返れば昭和25年(1950年)に未だ戦争の傷跡が残る瓦礫の敷地へ北海道砂川町から転校生として旭小学校へ転入し野沢でのバラック生活からスタート、早や65年の歳月が過ぎた事感無量です。我が家の前は南北に走る名もない坂道ですが、坂を上ると旭小学校、下ると昔は用水があり、今でも湧き水がでていた鶴ヶ久保公園で、今も昔も子供の遊び場として多くの人に親しまれている公園です。

東京市昭和13年4月開設の文字が刻まれており、昭和20年代頃までは水は綺麗で湧き水がとぎれることなく溢れ、用水へ流れ出、やがて呑川を経て目黒川へ。今では暗渠ですが桜街道として親しまれて

います。エビ、フナ、メダカ、ドジョウなど魚遊び、水遊びに最適な場所でした。世田谷の歴史本を読むと、野沢村は江戸時代徳川家光の頃現在のの大田区六郷付近野沢田の出身者と葛飾出身の野村氏が開拓を始め、それで頭文字をとり野沢と呼ばれ天領として代官の支配下で畑作農業を営んでいた地域のようなのです。

関東大震災後旧市街地から人口移入により野沢、下馬地区も大きな変化が起り、我が家も戦前鶴ヶ久保公園設立と同時に祖父が洋館を作り住み始めましたが、昭和20年5月の東京大空襲で旭小学校が標的にされ、その煽りで全焼となり、やつと昭和25年に家族6人で戻る事が出来ました。敷地内には焼夷弾の残骸が草叢に残っており、子供心に戦争の傷跡を感じました。

また坂を下った用水土手の向こう側が当時プールのある大豪邸で、お金持ちはこのような家と庭に住んでいるのだなあと悪友と堀によじ登って見ていたのを思い出します。余談ですが後日疑獄事件で有名になった海運会社の社長宅だったようです。

旭小学校は100年以上の歴史

がある学校ですが卒業時のクラスは仲が良く、名づけた若葉会(今では落葉、枯葉ですが)は男女共々青春時代、仕事人間時代、熟年時代を経て、好きだ、嫌いだの年齢を通り越し、定年後には毎年6月4日(6年4組から)のクラス会が楽しく長く続いております。担当の先生もご存命で我々と同世代の雰囲気です。野沢の地元でクラスの女性群がしっかりと根を張り湧き水のごとく流れ出た男性達の心を洗ってくれます。これから後何年続くのでしょうか。

その後野沢から田舎道を目黒の中学へ、そして高等学院へ入り上石神井に通い、高田馬場へ。その7年間自分も成長する過程で地域も東京オリピックに向けて道路拡張、移転、環七の完成、玉電の廃止、ローカル駒沢野球場からオリピック競技場へと大きく様変わりしていった時代でした。

学院では昔もマイナー、今もマイナーの合言葉であるハンドボール部(昔はサッカーと同じ11人で屋外競技、今は7人で室内が基本)で今もご健在な鬼の萩原一次監督に鍛えられ、あの国立競技場での早慶対抗(2勝1敗)や3年

の夏優勝候補でありながら東京都大会決勝戦で惜敗し全国高校総体、国体へ行けずに悔し涙を流した日など思い出はつきません。

大学ではゴルフ部に入り4年間練習しましたがレギュラーではなく、先輩、同輩、後輩の応援が多かったです。ゴルフは人生の縮図でありうまくいかない事だらけのスポーツで、それを乗り越える人間力をゴルフから学びました。社会人になってからは波乱万丈でしたが、学んだ柔軟性と素直な気持ちで厳しい環境を幾山も乗り越えてきました。

時代を経てゴルフがこんなに盛況なスポーツになりうるとは当時は想像もしませんでした。野沢の片隅の湧水が大きな川に流れていくように、私も小学校、中学、高等学院、政経学部、社会人へと流れながらも多くの友人、仲間と恵まれてきました。また家族、健康にも恵まれ、4年後に再度の東京オリンピックで昔の仲間と開催国枠のハンドボールやゴルフ競技を応援できるよう、それまで健在でありたいと思っっています。

私と早稲田大学の絆

江原 利次 (昭31商)



私は埼玉県立熊谷高校では陸上競技部の110メートルハードルの選手として連日汗を流していました。当時、勉強ばかりしている連中は、東大、一ツ橋大等を狙うのですが、運動部の連中は、3年生までに埼玉県代表になって早稲田が慶応に現役合格すれば良しとされていました。

私は何とかその目標を達成でき、監督の松浦先生に早稲田の角帽を被って挨拶に行つたところ、先生は私の角帽を鏡の前で自分で被って、じつと眺めていました。先生曰く「実は私もこの角帽にあこがれたのだが、家が貧しかったので授業料免除の高等師範学校に行かざるを得なかった。早稲田の角帽を被りたくても色々な事情で諦めざるを得ない若者が沢山いるのだから君はその人達の為にも立派な早稲田の学生になりなさい。」と

言われたのが心に残りました。早稲田の角帽は私の田舎町ではかなり目立つ存在で両親も鼻が高かったようです。

早稲田に入った私は商学部の地下室にある経営経済学会に入会して、ワイワイと広告宣伝、人事管理手法等の議論をしていましたが、これが就職試験の面接で大いに役立つことになりました。

武田薬品の面接では、人事部長から当時はまだ左翼学生を心配する風潮があつたせいか経営経済学会について聞かれたので、同じ学会の全国大会が同志社大学で行われ「我が国の人事管理の将来の方向について」の討論会をした事を話すと、相手が身を乗り出してきたので、早稲田の提案した内容を思い切つてしゃべりましたが、何とんでも相手はプロ中のプロですから喉がカラカラになってしまいました。これではまずいと面接の最後は元運動部員を印象づけようと、さっと立ち上がって高校時代の部室で何度もさせられた最敬礼をして「有難うございました」と大きな声で挨拶したら、軍隊経験豊富な役員の方がニコリとされたのでホッとしました。結果は

もちろん「サイヨウ ナイテイス」の電報となって我が家に配達されてきました。

私は今でも早稲田大学とはエクステンションセンターの英会話教室と太極拳クラスを通して10年以上の強い絆で結ばれています。



記者の目

TYPE OF REPORTERS

会報に「世田谷ぶらさんぼ」というコーナーを数号前から始めており、61号で第3回を迎える。筆者は学生時代「早稲田大学歩行会(あるこうかい)」という山歩きのサークルに所属していた関係で、日本中の山や平地を良く歩いた。最近でもこのサークルのOB連中と毎月のように企画と称してあちこちを歩いている。さすがに最近山に行く元気がなくて街歩きが多い。世田谷区内も何度となく歩いていますがとても良い場所が多い。

「世田谷ぶらさんぼ」の候補地は既に17件ほどリストアップしてあるが、読者の中でこれは是非にという場所があれば紹介いただきたい。世田谷に住んでいるとなかなか自分の家の近くは探索しないもので、もつたない。

世田谷稲門会にもウォーキング部会があり、あちこち歩き回っています。健康のためにも皆さん歩きましょう。

さて、10年以上に亘り会報の編集委員をしていただいた江原利次さんが今号をもって委員を退くことになりました。長い間お世話になりました。(稲男/記)



編集委員左から 寺島、鷺巣、江原、兼子、榎並、若林(欠;小口、大内)

世田谷稲門会 会員異動状況 平成28年2月29日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
朴 容震	昭44	理工	個人情報につき不掲載			
宮本 義一	昭41	理工				
永井 文男	昭58	理工				
中杉 誠	昭52	商				
郡山 昌也	平25	社会院				
磯田 久美子	平01	文				
酒井 春孝	平01	商				
森 恭子	平01	商				
中野 通明	昭56	法				
田波 直子	昭59	社会				
守口 均	昭55	政経				
平沢 卓也	平27	理工				
西山 温子	平17	法				
小山内 弘樹	平11	理工				
瀧中 省一	昭56	商				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
山崎 昌宏	昭33	商		
大矢 和親	昭39	法		
宮澤 次郎	昭36	政経		
日野 俊郎	昭47	法		
高橋 悦男	昭32	文		
菅原 俊軌	昭47	法		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	備考
藤巻 洋介	平12	社会				
尻無浜 優	平18	法				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
佐藤 正和	昭57	理工				
矢後 勝洋	昭40	政経				

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650
e-mail;shinoshoko@gmail.com

編集後記

4人の方々に語っていただいた戦後70年の特集企画「終戦前後の早稲田と私」が終了し、通常の紙面に戻りました。「会員の広場」が復活し、担当ブロック会の方々から原稿をいただきました。この会員の広場はブロック会のこれまでの執筆順序に従って執筆者の各ブロック会では執筆者をあらかじめ決めて準備しておいていただければ、と思っております。

シリーズ物も「母校の今」や「世田谷ぶらさんぼ」を掲載してきています。

新たな特別企画や特集、またシリーズ物も充実していきたいと考えていますので、会員の皆さんからいろいろご提案いただけないでしょうか。

ご提案を受けて編集委員会でも検討していきたいと思っております。

会報の誌面がますます充実するよう努力していきたいと思っております。

(小口 浩一/記)